



4. DevirusAC【亜塩素酸水】の安全性について

食品に対する利用方法として、噴霧は認められている他、「ラットを用いた吸入毒性試験を実施しており、400~600ppmの濃度において毒性学的影響は認められなかった。」という実験結果が出ております。

■ ラットを用いた吸引急性毒性試験

吸引方法: 固定された鼻腔への亜塩素酸水エアゾール噴霧

噴霧時間: 4時間連続

結果: 亜塩素酸「無毒性濃度」0.04%(400PPM)~0.06%(600PPM)
肺1g当たりの無毒性量(400PPM~600ppm)で0.22~0.33mg

■ DevirusAC使用時の人の吸入亜塩素酸量の推定

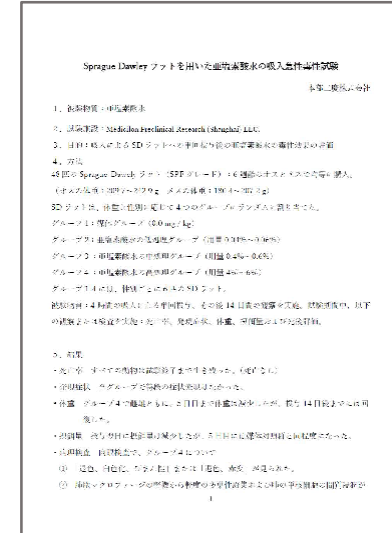
吸引方法: 固定された鼻腔への亜塩素酸水エアゾール噴霧

運転時間: 間欠噴霧(10分噴霧/50分停止)10サイクル(10時間)

間: 噴 1時間当たり1.2ℓ(200ppm)

霧量: 大人が10時間で吸入する亜塩素酸量は1.95mg
(室内濃度×時間×呼吸回数×1回当たりの吸入量)

吸入量: **肺1g当たりの亜塩素酸量(200ppm)で0.0018mg(吸入亜塩素酸量÷肺重量)**



※詳細につきましては別紙資料を参照ください。

結論: DevirusACで亜塩素酸濃度200ppmを10分間噴霧を10時間行った場合、無毒性量(NOAEL)の200~300倍の安全率となります。

試験施設: Medicilon Researcha(Shanghai)は、上海にあり、中国、日本を含む東アジアおよび欧米の臨床実験期間として、世界的な規模と実績を持っております。